

既婚者向けマッチングアプリの利用実態に関するアンケート調査

調査概要

調査主体	当サイト独自調査
調査対象	既婚者向けマッチングアプリの利用経験がある男女
調査期間	2026年2月1日～2026年2月28日
調査方法	インターネット調査(クラウドソーシングサービスを利用)
調査人数	300名
調査対象者 性別	男性165名、女性135名
調査対象者 年齢	18歳～40代以上
調査対象者 地域	全国

※本調査は当サイト独自調査です。

アンケート調査結果

Q1. あなたの性別と現在の年齢層を教えてください。

選択肢	回答数	割合(%)
男性(18～24歳)	6	2.0%
男性(25～29歳)	15	5.0%
男性(30～34歳)	39	13.0%
男性(35～39歳)	54	18.0%
男性(40歳以上)	51	17.0%
女性(18～24歳)	3	1.0%
女性(25～29歳)	21	7.0%
女性(30～34歳)	48	16.0%
女性(35～39歳)	42	14.0%
女性(40歳以上)	21	7.0%
合計	300	100.0%

【解説】

男女ともに30代から40代以上の利用が中心であることがわかります。

特に男性は35～39歳、女性は30～34歳の層がボリュームゾーンとなっています。

結婚生活が数年経過し、子育てや仕事が落ち着いてきた段階で、家庭以外の新しい繋がりや息抜きの場を求め始める年代が積極的に利用している傾向が読み取れます。

Q2. 既婚者向けマッチングアプリを利用した主な目的は何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)
相談できる異性の友人が欲しい	99	33.0%
日常のストレスや愚痴を話したい	66	22.0%
趣味や食事を楽しめる相手探し	57	19.0%
恋愛感情を楽しみたい(婚外恋愛)	45	15.0%
肉体的な関係を持てる相手探し	21	7.0%
その他・単なる暇つぶし	12	4.0%
合計	300	100.0%

【解説】

「相談できる異性の友人が欲しい」「日常のストレスや愚痴を話したい」といった精神的な繋がりを求める回答が全体の半数以上を占めました。

家庭内の悩みや不満を共有できる第三者の存在を必要としているユーザーが多い実態が浮き彫りになっています。

肉体関係や恋愛を主目的とする層は一部にとどまり、プラトニックな関係を望む声が主流です。

Q3. これまでに利用した既婚者向けマッチングアプリを教えてください。(※複数選択)

選択肢	獲得票数	割合(%)
Healmate(ヒールメイト)	104	26.0%
Cuddle(カドル)	88	22.0%
MarriedGo(マリーゴー)	64	16.0%
Meet(ミート)	48	12.0%
Afternoon.(アフタヌーン)	32	8.0%
既婚者クラブ	24	6.0%
Anemone(アネモネ)	16	4.0%
セパ	12	3.0%

yoloo(ヨロー)	8	2.0%
既婚リンク	4	1.0%
合計	400	100.0%

【解説】

利用経験のあるサービスとしては、ヒールメイトやカドルに多くの票が集まる結果となりました。

続いてマリーゴーやミートなどが利用されており、知名度が高く会員数の多い主要サービスに利用者が集まりやすい傾向がわかります。

複数のアプリを並行して試し、自分に合った機能や雰囲気のサービスを探しているユーザーも一定数存在しています。

Q4. 既婚者向けアプリを選ぶ際、最も重視したポイントは何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)
身バレ防止などの安全・匿名性	111	37.0%
会員数の多さや出会いやすさ	72	24.0%
既婚者専用という安心感	48	16.0%
月額料金の安さ・コスパ	45	15.0%

運営の監視体制やサポート	15	5.0%
アプリの使いやすさ・デザイン	9	3.0%
合計	300	100.0%

【解説】

アプリ選びで最も重視されたのは「身バレ防止などの安全・匿名性」でした。

既婚者という立場上、家族や周囲の友人に知られずに利用できるかが最大の懸念点となっています。

次いで「会員数の多さや出会いやすさ」が続いており、プライバシー保護の機能が充実していることと、実際にマッチングできる実績の両立がサービス選びの重要な基準です。

Q5. 利用したアプリの月額料金はどの価格帯でしたか？

選択肢	回答数	割合(%)
無料～1,000円	120	40.0%
3,001円以上	99	33.0%
2,001～3,000円	36	12.0%
1,001～2,000円	24	8.0%
覚えていない・非課金だった	21	7.0%

合計	300	100.0%
----	-----	--------

【解説】

料金帯については「無料～1,000円」と「3,001円以上」の二極化が見られます。

女性会員の多くが基本無料で利用できる一方、男性会員はメッセージのやり取り等に月額3,000円以上の有料プランへの加入が必要となるケースが多いという、マッチングアプリ特有の男女別の料金体系がそのままアンケート結果に反映された形です。

Q6. 実際にアプリを通じて気の合う相手と出会うことはできましたか？

選択肢	回答数	割合(%)
会ったが、継続はしていない	96	32.0%
1人と出会い、継続して会っている	78	26.0%
メッセージのみで会っていない	63	21.0%
複数人と出会い、継続して会っている	36	12.0%
まだ誰ともマッチングしていない	27	9.0%
合計	300	100.0%

【解説】

全体の約7割のユーザーが実際に相手と会うところまで進展しており、出会いのツールとしての実用性は高いと言えます。

特に4割近い人が特定または複数の相手と継続的な関係を築けています。

Q7. アプリを利用して感じた「最も良かった点」は何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)
家庭外の理解者・友人ができた	114	38.0%
日常のストレスが解消された	75	25.0%
異性として見られる喜びがあった	54	18.0%
秘密の恋愛で刺激を得られた	33	11.0%
特に良かった点はない・不満	24	8.0%
合計	300	100.0%

【解説】

最も良かった点として「家庭外の理解者・友人ができた」「日常のストレスが解消された」が多く挙げられました。

家庭内では話しにくい悩みを共有し、心の拠り所を見つけることで精神的な安定を得ているユーザーが多いことがわかります。

また「異性として見られる喜び」を挙げる声もあり、自己肯定感の向上や日々のモチベーション維持にも繋がっているようです。

